

三松

## 福岡発、チタン製品開発ネットワーク

金属加工をベースに各種機械装置の組み立てなどを行っている三松（本社・福岡県筑紫野市）は、九州大学発のベンチャー企業であるリナシメタリをはじめとする福岡県の中小企業4社と大学1校と連携し、各社・各校の得意技術を生かしながら、高強度・軽量・生体適合性で注目されているチタンを用いた商品開発を行っている。チタンの鍛造加工品を商品化するというアイデアを実現するために、中小企業が1社でメーカーとなるのは技術的・体力的に困難と考え、関連する技術のスペシャリストである各企業に話を持ちかけ、今回の共同開発ネットワークが実現した。各社が開発から販売までを分担して行い、従来のメーカー・下請け構造を廃し、新たな商品開発ネットワークを形成する試みになる。

同社は商品第一号として、チタンがステンレスのおよそ半分の重量であることに着目し、力の弱い乳幼児やお年寄りでも使いやすい「スプーン」を選択。持ち手の形状案を3Dプリンターで複数作成し、感性評価を行い最も評価が高かった形状を採用した。チタンは熱伝導率が低く、口に含んだ時の冷たさを感じにくい。また、強固な酸化皮膜を有しているため金属イオンの流



共同開発で製作したチタン製のスプーン

出が少なく「金属臭さ」を感じにくい。そのため、食材本来の味を楽しむことができる。さらに、生体適合性が高い金属なので、アレルギーなどの心配も少ない。今年4月に福岡市内の百貨店で買ったスプーンの初回販売では、1本1万5000円とカトラリーとしては高額な価格設定にもかかわらず、用意した20本が約10日間でほぼ完売した。

今後は、今回の生産にあたって課題となった生産コストの低減を図るとともに、よりユーザーが求める製品コンセプト・デザインにめどを付け、次期商品の企画開発を行っていく。

【問い合わせ】

三松  
☎092・926・4711